



## 1 開催理念

- (1) 県民総参加による森林づくりと、森林資源の循環利用を推進します。
- (2) 森林の恩恵を県内外にアピールし、健全で豊かな森林を次の世代へ引き継いでいきます。
- (3) 世代を越え県を越え全国の皆様に参加できる全国植樹祭にします。
- (4) 感謝の気持ちを込めて東日本大震災津波からの復興の姿を国内外へ発信します。

## 2 全国植樹祭の概要

- (1) 目的: 全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に天皇皇后両陛下の御臨席のもとで行われる国土緑化運動の中心的行事。
- (2) 主催: 公益社団法人国土緑化推進機構、岩手県
- (3) 開催日: 令和5年6月4日(日)
- (4) 大会テーマ: 「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」
- (5) 会場
  - ア 式典会場 高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)
  - イ 植樹会場 高田松原運動公園(陸前高田市)
  - ウ サテライト会場 イオンモール盛岡(盛岡市)  
江釣子ショッピングセンター・パル(北上市)  
道の駅 いわて北三陸(久慈市)
- (6) 参加者: 7,081人  
(招待者 1,712人、実施本部員及び協力員等 2,391人、サテライト会場 2,978人)  
なお、当日の記念式典の様子を配信した YouTube の視聴数は、約 2 万件



大会ポスター原画

### (7) 行事概要

#### ア 式典行事

プロローグ	プロローグアトラクション、感謝状の贈呈 など
記念式典	黙とう、主催者あいさつ、天皇陛下のおことば、表彰、天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き、大会テーマの表現、大会宣言 など
エピローグ	エピローグアトラクション

#### イ 植樹行事 招待者等による記念植樹 約 3,200 本



大会テーマの表現



感謝のメッセージ



苗木の贈呈



天皇陛下お手植え



招待者記念植樹

- (8) 主な成果: ○ 豊かな森林を守り、育み、次の世代を担う子どもたちへと、確実に繋いでいく契機となった。

- 大会の開催に向け、多くの小・中・高校生、企業・団体など、オール岩手での取組が、積極的に行われた。
- 岩手の豊かで多様な森林・林業の素晴らしさや、復興支援に対する感謝の気持ちを力強く発信した。

## 3 お手植え・お手播き樹種

	天皇陛下	皇后陛下
お手植え	南部アカマツ カンワ クダシ	ハニヤホウウ ハナヒョウタンボク ミチノクサ
お手播き	オヤマザクラ ケヤキ	ヤブツバキ ハマナス

## 4 企業協賛実績

資金協賛	72件	42,697,357円
物品協賛	26件	26,307,049円
その他協賛	5件	3,133,964円
合計	103件	72,138,370円

## 5 県産木材の利用

会場内の施設や木製品に、県産木材を使用。



お野立て所



お机



お手播き箱



ウェルカムボード



ベンチ



プランターカバー

## 6 関連事業

- (1) 1年前記念イベント 令和4年7月9日(土) 岩手県県民の森(八幡平市)
- (2) 木製地球儀リレー  
全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を県内全市町村で巡回展示
- (3) 苗木のスクールステイ  
緑の少年団や小中学校において、全国植樹祭で植樹する苗木の一部を育成
- (4) 開催 200 日前カウントダウンイベント 令和4年11月16日(水) 岩手県庁前
- (5) 開催 100 日前カウントダウンイベント 令和5年2月25日(土) アバッセたかた(陸前高田市)
- (6) 県内各地での緑化活動
- (7) 県内市町村イベント等における事前 PR
- (8) 第 51 回全国林業後継者大会 令和5年6月3日(土) 盛岡市民文化ホール(盛岡市)



木製地球儀

【第73回全国植樹祭公式ホームページ】

URL <https://syokujusai-iwate2023.jp/>

または、「全国植樹祭 岩手」で検索してください。



公式 HP



公式 X (旧 Twitter)